

地域みらい図ワークショップ

ー地域の未来をみんなの手でー

～鎌倉市深沢地区レポート～



実施日程：令和7年（2025年）6月29日（日） 場所：深沢学習センター第2集会室 参加者：17名

主催

鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会



ワークショップのねらい

地域には、子育て、高齢者の見守り、障害のある子どもや大人のサポート、移動の不便さ、近所づきあいの変化、地域行事の継承など、さまざまなニーズがあります。こうした「くらしの課題」は、市だけで解決するのではなく、住民同士の支え合いや公的な制度・支援とも連携しながら、地域全体で取り組んでいくことが大切です。

そこでワークショップでは、いろいろな立場の人が「この地区で、これからどんなふうに住らしたいか」から出発し、数年後のまちの様子を具体的に描きました。住民の関わり方の選択肢が広がり、役割を無理なく分かち合える地域づくりにつながることを、ねらいとしました。

地域の見守りや行事の運営は、一部の人の役割が集中しやすく、「このままだと続けるのが大変」という声もあり、地域の課題として「担い手不足」が語られがちです。

一方で、「担い手不足」を強く打ち出すと、地域への参加が責任や負担を伴うものとして受け止められ、新しく関わる人にとってハードルが高くなることがあります。

そのため今回は、役割の話から入るのではなく、地域で大切にしたい暮らしのイメージや、一人ひとりの思いを語り合うことを大切にしました。

実施内容

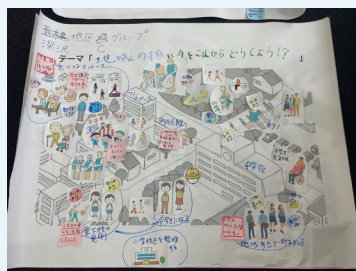
当日は、次の2つのステップで進めました。

- ・「いま」と「これから」の意見交換（困りごと・大事にしたいことの共有）
- ・地域みらい図づくり（架空の地図に、深沢地区のどこかをイメージしながら、場所・人の動き・そこで交わされる会話・うまれる関わりなどを、イラストや文字で描いてみる）

地域の課題は抽象的なことも多いため、いまの暮らしを出発点に、数年後の地域で見たい景色や場面を描くことで、「どんな地域を目指したいか」「そのために何が大切か」を、共有しました。



深沢地区で描く「未来の風景」（地域みらい図より）



※紙面の都合で、地域みらい図は代表例のみ掲載しています。どのグループからも大切な意見をいただきました。いただいた内容は別途取りまとめ、今後の検討に活かしていきます。

深沢地区で描く「未来の風景」(地域みらい図より)



○未来の風景①：移動の不安が和らぎ、誰もが地域の中を行き来できる

- ・送迎バスや移動支援があり、高齢者や子ども連れも無理なく外出できる。
- ・買い物や集まり、学びの場へ行きやすくなり、地域とのつながりが広がる。
- ・移動しやすさが、孤立を防ぎ、安心して暮らせる地域の土台になる。

○未来の風景②：『みんなの家』のような、誰もが立ち寄れる拠点がある

- ・深沢みんなの家やボランティアセンター、誰でも学べるスペースなど、立ち寄り先の選択肢がある。
- ・新しい拠点が、多世代が集まり、相談し、交流できる場として活かされる。
- ・大きな公園や身近な拠点がつながり、日常の中で自然に人が交わる。



○未来の風景③：子どもから大人まで、ゆるく関わりながら地域を支える

- ・子どもも町を知り、見守りや地域活動に関わるきっかけがある。
- ・ごみ拾いや声かけ、見守りなどの小さな関わりが、地域を支える力になる。
- ・担い手を特別な人に限らず、世代を超えて少しずつ関われる地域になる。



深沢地区の様子

問 地域福祉の活動を促進するために必要なことは何だと思えますか。(○は5つまで)

区分	回答者数	参加内容の活動	一人でも気軽に	定間参加しやすい	と両立できるよ	仕事・学校・家庭	自分の特技や活	動を交流すること	に地域住民と気軽	が交流すること	活動場所を使い	に発信する	新情報にこまめ	トやSNSで最	公式ウェブサイ	情報提供する	チラシやパンフ
全体	1,521人	47.8%	40.7%	34.3%	16.4%	27.4%	18.5%	20.4%	20.4%								
深沢地区	213人	45.1%	34.3%	33.8%	17.4%	29.1%	18.8%	15.0%	22.1%								

資料：鎌倉市の地域福祉に関するアンケート調査（アンケート調査より一部抜粋）

メッセージ

【市】

ワークショップやアンケートで見えてきたことをもとに、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに活かしていきます。これからも地区ごとに対話の場を続けます。一人でも、途中からでも、話すのが得意でなくても大丈夫です。ぜひ、気軽にご参加ください。

【鎌倉市社会福祉協議会】

市社協は、地区の活動や身近な相談の場に日常的に関わっています。住民の皆さんのアイデアが無理なく地域住民の主体的な取組につながるよう、地区社協や地域のみなさまとともに進めていきます。

【川上富雄先生（鎌倉市や市社協の計画づくりに長く関わってきた大学教授）】

地域づくりに、正解は一つではありません。だからこそ、いろいろな立場の声を集め、未来の暮らしを具体的に描くことに意味があります。こうした話し合いが、これからの地域づくりにつながることを期待しています。

【連絡先】

鎌倉市健康福祉部福祉政策課 地域福祉担当

社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

〒248-0012 鎌倉市御成町 20-21

T E L 0467-23-3000 (代表)

T E L 0467-23-1075

